366日の昔話

福娘童話集

ジャックとマメの木

福娘童話集　きょうの世界昔話より

ジャックとまめの木　QRコード

おなまえ

福娘童話集　豆本シリーズ 13

むかしむかし、あるところに、ジャックという 男の子が、おかあさんと いっとうの ウシを かって くらして いました。

ジャックは まいあさ、ウシの ミルクを しぼると、町へ うりに いっては、そのお金で くらしを たすけていました。

けれど、そのウシも 年を とったので、とうとう ミルクを 出さなくなって しまいました。

「しかたないわね。このウシを うって、お金に かえましょう」

おかあさんに たのまれた ジャックは、町まで ウシを ひいていくことに しました。

すると とちゅうで、一人の おじさんが ジャックに こえを かけてきました。

「ぼうや、そのウシと このマメを とりかえっこ しないかい？ これはね、まほうの マメなんだよ」

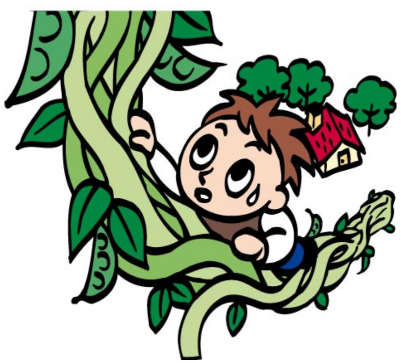
「まほうの マメだって！ すごいや。うん、とりかえても いいよ」

ジャックは マメを うけとると、よろこんで いえに もどりました。

そのはなしを きいた おかあさんは、ジャックを しかりました。

「まったく、こんなマメつぶと ウシを とりかえてくるなんて、あんたは どうかしてるよ」

「でも、まほうの マメなんだよ」



「まほうだなんて、うそに きまって いるじゃないの！」

おかあさんは マメを とりあげると、ポイッと、まどの そとに すてて しまいました。

ところが つぎの あさ、ジャックが 目を さましてみると、おかあさんの すてたマメが、てっぺんが 見えないほどの 大きな 木に なっていたのです。

「ほら、やっぱり まほうの マメだったんだ。・・・よし、上へ のぼって みよう」

ジャックは、マメの 木を ドンドン のぼりました。

くもを こえても、マメの 木は まだまだ つづきます。

そして とうとう、ジャックは てっぺんに つきました。

そこには、大きな おしろが ありました。

ジャックが そのおしろを たずねて みますと、中から、おかみさんが 出てきて いいました。

「まあ、あなた、どうやって こんなところまできたの？ ここは おそろしい ひとくい大男の いえよ。はやく おうちに かえりなさい」

そのとき、大男の 足音が きこえてきました。

「しかたがないわ、こっちに いらっしゃい」

おかみさんは、ジャックを だいどころの かまどに かくしてくれました。

そこに、大男が かえってきました。

ものすごい 大男で、手には ３とうの ウシを ぶら下げています。

「クンクン、おや？ にんげんの においだ。にんげんの 子どもの においが するぞ」

「あら、そんなこと ありませんよ。にんげんの 子どもは、おととい たべたばっかりでは ありませんか」

おかみさんに いわれて、大男は となりの へやに いきました。

大男は きんかの 入った ふくろを ２つとりだすと、中の きんかを かぞえはじめましたが、

そのうちに ねむって しまいました。

「あのきんかが あれば、おかあさんが よろこぶぞ！」

ジャックは かまどを 出ると、大男の きんかの ふくろを 一つ かついで、いそいで いえに かえりました。

きんかの ふくろを 見て、おかあさんは 大よろこびです。

しばらくたって、ジャックは またマメの 木を のぼって、大男の いえに やってきました。

ジャックが かまどに かくれていますと、大男は おかみさんに いいました。

「金の たまごを うむ メンドリを つれてこい」

おかみさんが メンドリを つれてくると、大男は テーブルの 上で 金の たまごを うませました。

それを みると、大男は また ねむってしまいました。

「いまだ！」

ジャックは メンドリを かかえると、そのまま いえに かえりました。

金の たまごを うむ メンドリの おかげで、ジャックは たちまち おかねもちに なりました。

でも、ジャックは まだ、まんぞくして いません。

ほかにも たからものが あると おもって、またまた 大男の いえに やってきました。

ジャックが かまどに かくれていますと、大男は 金の たてごとを もってきました。

そのたてごとは 大男が めいれいすると、ひとりでに おんがくを かなでます。

大男は そのたてごとの ねいろを ききながら、また ねむってしまいました。

「よし、こんどは あのたてごとだ！」

ジャックは たてごとを つかむと、いちもくさんに にげました。

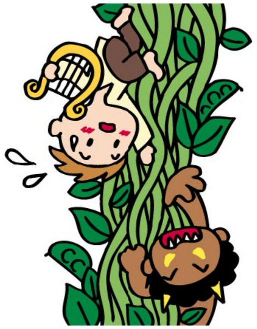
そのときです。

「だんなさま、ドロボウですよ！」

おどろいたことに、たてごとが おおごえで しゃべったのです。

「なに！ こぞう、きさまだな。きんかと メンドリを ぬすんだのは！ そして こんどは、たいせつな たてごとを ぬすむと いうのか。ゆるさん、くってやる！」

大男は ジャックを おいかけて きました。



ジャックは おおいそぎで マメの 木を おりると、おかあさんに いいました。

「はやく、はやく！ オノを もってきて！」

ジャックは おかあさんから オノを うけとると、マメの 木を きりたおしました。

「あ――――っ！」

マメの 木から おりようと していた 大男は、たかい 空の 上から おちてしまい、そのまま どこかへ きえて しまいました。

それから ジャックは、かわいい およめさんを もらって、おかあさんと ３人で いつまでも しあわせに くらしました。

おしまい。

福娘童話集　豆本シリーズ

- ももたろう
- かぐやひめ
- カチカチ山
- 花咲じいさん
- 金太郎
- 浦島太郎
- かさじぞう
- サルカニがっせん
- いっすんぼうし
- したきりスズメ
- つるのおんがえし
- 赤ずきんちゃん
- ジャックと豆の木
- あわれなあくま
- シンデレラ
- しらゆきひめ
- マッチ売りの少女
- メスウシとライオン
- ガリバーの冒険
- 眠れる森の美女
- おやゆびひめ
- みにくいアヒルの子
- にんぎょひめ
- 花のおじいさん
- はだかの王さま
- ゾウのはなはなぜながい
- ヘンゼルとグレーテル
- アリババと40人の盗賊
- ウサギとカメ
- 北風と太陽

福娘の携帯向けサイト

- 福娘童話集
  （世界と日本の昔話）
- 366日への旅
  （記念日・誕生花・誕生日）
- こどもの病気相談所
  （こどもの病気検索・対応など）
- 世界60秒めぐり
  （世界の国々の豆知識）

QRコード

http://hukumusume.com